



様式1(主な取組)

| 活動指標名   | 青少年交流体験事業派遣児童数 |       |       |       | H30年度  |   |             | H30年度<br>決算見込<br>額合計 | 進捗状況 | 活動概要   |
|---|----------------|-------|-------|-------|--------|---|-------------|----------------------|------|--|
| 実績値   | H26年度          | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 実績値(A) | 計画値(B)  | 達成割合<br>A/B |                      |      |  |
|   | 252人           | 213人  | 229人  | 253人  | 269人   | 252人  | 100.0%      | 7,644                | 順調   | 平成30年7月31日～8月5日でフレンドシップ九州の本研修を行い、その前後で事前研修、事後研修を実施した。<br>平成30年12月22日～25日で、沖縄県・兵庫県青少年交流事業の本研修を行い、フレンドシップ九州と同様に事前、事後研修を実施した。 |
| 活動指標名   | —              |       |       |       | H30年度  |   |             |                      |      |  |
| 実績値   | —              | —     | —     | —     | —      | —   |             |                      |      | 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果  |
| 活動指標名   | —              |       |       |       | H30年度  |   |             |                      |      |  |
| 実績値   | —              | —     | —     | —     | —      | —   |             |                      |      |  |
| (2)これまでの改善案の反映状況  |                |       |       |       |        |   |             |                      |      |  |
| 平成30年度 of 取組改善案   |                |       |       |       |        | 反映状況  |             |                      |      |  |
| <p>①事業実施について、(公社)沖縄県県民会議及び教育庁と緊密に連携するため、事業実施前の調整会議の回数を増やす。</p> <p>②天候の変動や感染症対策等のリスク対応マニュアルの作成を行う。</p> |                |       |       |       |        | <p>①(公社)沖縄県青少年県民会議や教育庁との調整会議を増やし、事業実施における課題について対応策の検討等を行った。</p> <p>②感染症対策や天災、事故等に適切に対応するため、緊急事態発生時マニュアルを作成した。</p> |             |                      |      |  |



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

#### (1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

##### ○内部要因

・研修スケジュールがタイトであったため、一部のプログラムにおいて十分な時間を確保できなかった。

##### ○外部環境の変化

・幅広い年齢の児童・生徒が参加し、共同生活を行う研修は貴重な機会となっている。  
・近年の猛暑など、研修環境が厳しくなっている。

#### (2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・研修の各プログラムが安全・円滑に行われるよう、研修内容を再検討する必要がある。  
・幅広い年齢層の児童・生徒に研修を知ってもらう必要がある。



### 4 取組の改善案(Action)

・事業の実施主体である(公社)沖縄県青少年育成県民会議とともに、宿泊場所やプログラム内容を検討を行い、さらなる研修内容の充実を図る。  
・県の広報誌等を活用するなど、周知広報を強化し、事業の認知度向上を図る。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

|          |   |                        |         |                               |
|----------|---|------------------------|---------|-------------------------------|
| 施策展開     | 5-(1)-ア   | 地域を大切にし、誇りに思う健全な青少年の育成 | 施策      | ① 体験活動等の充実及び学校・家庭・地域の相互の連携・協力 |
|          |   |                        | 施策の小項目名 | ○地域特性を学ぶ取組                    |
| 主な取組     | 沖縄平和学習アーカイブ運営事業   |                        | 実施計画記載頁 | 370                           |
| 対応する主な課題 | ①沖縄の子どもたちが豊かな心を形成し、生きる知恵、社会性、生まれ育った地域に誇りを持つ人格を形成していくためには、幼い頃から地域活動や体験活動を通して、より多くの人々と触れあうとともに、沖縄の自然、文化をはじめ、国内外の優れた芸術文化に触れる機会等の一層の充実を図る必要がある。<br>②不登校、ひきこもり、問題行動など、社会適応能力に課題のある青少年の増加は、社会全体として大きな損失であり、地域における体験活動等を通して児童生徒のソーシャルスキルを高め、社会的自立を促すことが重要となっている。 |                        |         |                               |

1 取組の概要(Plan)

| 取組内容  |                                     | 年度別計画                      |     |         |         |         |
|---|-------------------------------------|----------------------------|-----|---------|---------|---------|
|   |                                     | H29                        | H30 | R元(H31) | R2(H32) | R3(H33) |
| 戦争を知らない世代に対して、沖縄戦の歴史的教訓の情報を発信するため、これまで収集した沖縄戦体験者の証言等をデジタルコンテンツとして整備し、「沖縄平和学習アーカイブ」サイトにより、インターネットを通して発信する。 |                                     |                            |     |         |         |         |
| 実施主体  | 県                                   | インターネットを通して沖縄戦体験者の証言映像等を配信 |     |         |         |         |
| 担当部課【連絡先】   | 子ども生活福祉部女性力・平和推進課<br>【098-866-2500】 |                            |     |         |         |         |

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

| 予算事業名 | 沖縄平和アーカイブ運営事業 |          |          |          |          |            | R元(H31)年度 |      | 平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画   |
|-------|---------------|----------|----------|----------|----------|------------|-----------|------|---|
| 主な財源  | 実施方法          | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算額 | H30年度決算見込額 | 当初予算額     | 主な財源 | OH30年度: 沖縄戦体験者の証言等を本サイトを通して発信した。平和学習等への活用を促進するため、メッセージボード機能を追加した。             |
| 県単等   | 委託            | 1,819    | 1,560    | 1,461    | 1,461    | 921        | 1,186     | 県単等  | OR元(H31)年度: 沖縄戦体験者の証言等を本サイトを通して発信する。平和学習等への活用を促進し、沖縄戦の歴史的教訓を次世代へ継承するため、広報を行う。 |
| 予算事業名 | —             |          |          |          |          |            | R元(H31)年度 |      | 平成30年度活動内容と令和元年度(平成31年度)の活動計画   |
| 主な財源  | 実施方法          | H26年度決算額 | H27年度決算額 | H28年度決算額 | H29年度決算額 | H30年度決算見込額 | 当初予算額     | 主な財源 | OH30年度: —   |
|       |               | —        | —        | —        | —        | —          | —         |      | OR元(H31)年度: —   |

様式1(主な取組)

| 活動指標名   | インターネットを通して沖縄戦体験者の証言映像等を配信 |       |       |       | H30年度  |  |             | H30年度<br>決算見込<br>額合計 | 進捗状況 | 活動概要   |
|---|----------------------------|-------|-------|-------|--------|--|-------------|----------------------|------|--|
| 実績値   | H26年度                      | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |      |  |
|   | —                          | —     | —     | —     | 配信の実施  | —  | 33.0%       | 921                  | 大幅遅れ | <p>平成30年度は、従来の運用方法を見直すため、4月～11月は一時休止し、12月からの運用開始で、専用サーバーからクラウドサービスによる共用サーバー化によるコストの低減と、平和学習等への利用推進のためリーフレットの作成やサイトへメッセージボード機能の追加などによりアクセス数増加のための方策を図った。</p> <p>進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果</p> <p>上記活動概要にもあるとおり、4月～11月の間の一時休止期間があるため、達成割合は年間12ヶ月のうち公開4ヶ月間、<math>4/12=0.33</math>とした。なお、コストについては、1月当たり約122千円(H29)から約47千円と従来に比べ約6割の低減が図られ、アクセス数も12～3月において同期間前年比230件(約13%)の増となった。</p> |
| 活動指標名   | —                          |       |       |       | H30年度  |  |             |                      |      |  |
| 実績値   | H26年度                      | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |      |  |
|   | —                          | —     | —     | —     | —      | —  |             |                      |      |  |
| 活動指標名   | —                          |       |       |       | H30年度  |  |             |                      |      |  |
| 実績値   | H26年度                      | H27年度 | H28年度 | H29年度 | 実績値(A) | 計画値(B)   | 達成割合<br>A/B |                      |      |  |
|   | —                          | —     | —     | —     | —      | —  |             |                      |      |  |
| (2)これまでの改善案の反映状況  |                            |       |       |       |        |  |             |                      |      |  |
| 平成30年度の取組改善案  |                            |       |       |       |        | 反映状況   |             |                      |      |  |
| <p>①平和学習等への活用を促進し、沖縄戦の歴史的教訓を次世代へ継承することを目的として、インターネットで配信していることをリーフレットやチラシ等のインターネット以外の媒体での広報を行い、本事業の動画チャンネルへの誘導に取り組む。</p> |                            |       |       |       |        | <p>①サイト運用経費の低減化を図り、利用者の声を紹介するためのメッセージボード機能を追加し、サイトに誘導するためのリーフレットを作成した。</p> |             |                      |      |  |



## 様式1(主な取組)

### 3 取組の検証(Check)

#### (1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

##### ○内部要因

- ・アクセス件数が落ち込んでいることから、本サイトの周知が不足していると思慮されるため、利活用を図るための広報に更に取り組む必要がある。
- ・多言語に対応していることを強調し、外国人観光客向けの広報にも取り組む必要がある。
- ・外部機関(平和団体等)への移譲検討が進展しないため、移譲を検討していることについても周知する必要がある。

##### ○外部環境の変化

- ・類似する他のアーカイブサイトとの差別化を図る必要がある。

#### (2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

- ・本サイトを平和学習等で活用しやすいように改善することで、より一層の普及を図る必要がある。
- ・沖縄戦の実相を次世代に正しく伝えるため、国内外に向けて本サイトの利用促進を図る必要がある。
- ・外部機関(平和団体等)への移譲が進展しないため、平和団体以外にも対象を広げ検討する必要がある。
- ・インターネット弱者への対応方法として、動画のDVD化と関係機関への配布について検討する必要がある。



### 4 取組の改善案(Action)

- ・県のホームページ等を通して引き続き情報発信を行うとともに、関係機関と連携し、県内の小中高生や県外から沖縄を訪れる修学旅行生に対して、平和学習教材としての活用を促進する。
- ・関係機関と連携を図ることで、国内外に本サイトの周知や利用を促進する。
- ・外部機関(平和団体等)への移譲について、平和団体以外にも対象を広げ検討する。